

Osaka Metro御堂筋線における終電延長の実証実験

- 令和2年1月及び2月に、Osaka Metro御堂筋線の終電延長の実証実験を実施。沿線エリアにおける時間帯ごと、属性ごとの回遊パターンを定量的に把握し、終電延長の影響等を調査。夜間の交通アクセスの充実に向け、調査手法の確立を図る。
- 具体的には、御堂筋線の終電延長時における、梅田・心齋橋・なんばの各駅を中心とする2km四方の地域（下図参照）の夜間の消費動向、人口流動、交通需要の変化をビッグデータ解析により把握。

実証実験対象エリアマップ

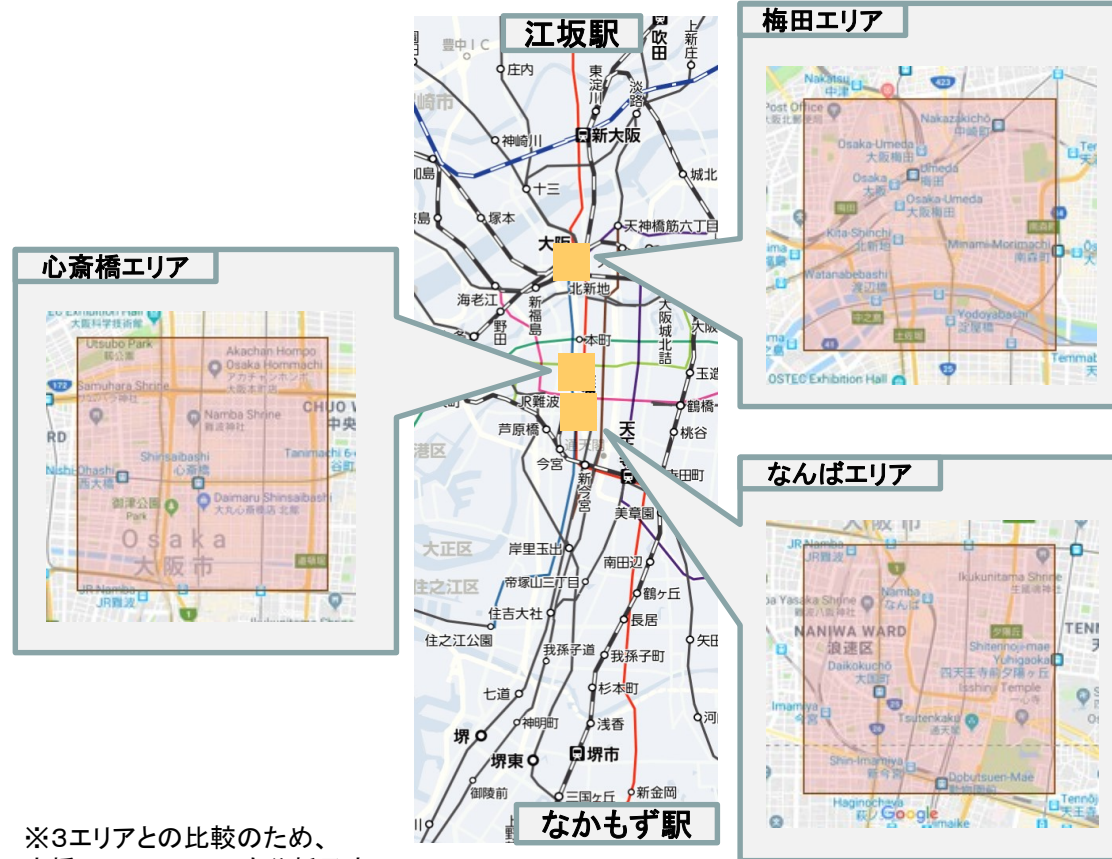
— : Osaka Metroメトロ 御堂筋線(江坂～なかもず) □ : 消費動向や人口流動の分析対象エリア

実証実験の概要

- 【実施日】 令和2年 1月24日（金）
2月21日（金）の深夜
- 【対象路線】 Osaka Metro御堂筋線（江坂～なかもず）
- 【実験内容】 終電時刻を概ね2時間延長
（0時台 ⇒ 2時台）
上下線とも概ね15分間隔で深夜運行

調査内容

- 夜間の消費動向や人口流動、交通需要の変化（前後1週間及び前年同時期との比較）
 - ・ 消費動向（クレジットカードの決済情報）
 - ・ 人口流動（携帯電話の基地局情報）
 - ・ 交通需要（御堂筋線の利用客数）
- 深夜運行の実施に際しての鉄道事業者の課題や対応策



※3エリアとの比較のため、京橋エリアについても分析予定。

引用：Google Map